

二〇二三年度 武蔵野東中学校 入学試験

国
語

一 次の①～⑤の―線部の漢字には読み仮名をつけ、⑥～⑩の―線部の仮名は漢字に直して書きなさい。必要に応じて送り仮名もつけなさい。

- ① 太い松の木の切り株。
- ② 親不孝を重ねる。
- ③ 生物の時間に蚕を観察した。
- ④ 姿見に向かう。
- ⑤ 文学作品を批評する。
- ⑥ 羊のタイグンに出会う。
- ⑦ ひさしく山に登っていない。
- ⑧ 関係をセイサンする。
- ⑨ お祝いにはなたばが届く。
- ⑩ ボウエキ赤字が増える。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。
(*印がついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

なにか書きものをしていた先生は、^①どやどやと入って来た。ぼくたちをみると、少しおどろいたようでした。が、女のくせに男のように首のところではぶつりと切ったかみの毛を右の手でなであげながら、いつものとおりの優しい顔をこちらに向けて、ちよつと首をかしげただけで、なんのご用というふうをなさいました。そうするとよくできる大きな子がまえに出て、ぼくがジムの絵の具をとったことをくわしく先生に言いつけました。先生は少しくもった顔つきをしてまじめにみんなの顔や、半分泣きかかっているぼくの顔を見比べていなさいましたが、ぼくに、

「それはほんとうですか。」

ときかれました。本当なだけども、ぼくがそんないやなやつだということ、どうしてもぼくの好きな先生に知られるのがつらかったのです。だからぼくは答えるかわりにほんとうに泣き出してしまいました。

先生はしばらくぼくを見つめていましたが、やがて生徒たちに向かって静かに、

「^②もういつてもようございます。」

といって、みんなを帰してしまわれました。生徒たちは少しものたらなそうにどやどやと下におりていってしまいました。

先生は少しのあいだなんとも言わずに、ぼくのほうも向かずに、自分

の手をだきすくめるようにして、

「絵の具はもう返しましたか。」

と小さな声でおっしゃいました。ぼくは返したことをすっかり先生に知ってもらいたいので深々とうなずいてみせました。

「あなたは③自分のしたことをいやなことだっと思ったと思いますか。」

もういちどそう先生が静かにおっしゃったときには、ぼくはもうたまりませんでした。ぶるぶるとふるえてしかたがないくちびるを、かみしめてもかみしめてもなき声が出て、目からはなみだがむやみに流れてくるのです。もう先生にだかれたまま④死んでしまいたいようなころもちになってしまいました。

「あなたはもう泣くんじゃない。よくわかったらそれでいいから泣くのをやめましょう、ね。つぎの時間には、教場に出ないでもよろしいから、わたしのこのお部屋にいらっしやい。静かにしてここにいらっしやい。わたしが教場から帰るまでここにいらっしやいよ。いい？」

とおっしゃりながらぼくを長いすに座らせて、そのときまた勉強のかねがなったので、つくえの上の書物を取り上げて、ぼくのほうを見ていられました。二階の窓まで高くはい上がったぶどうづるから、一ふさの西洋ぶどうをもぎとって、しくしくと泣き続けていたぼくのひざの上にそれをおいて、静かに部屋を出ていきなさいました。

一時がやがやとやかましかった生徒たちはみんな教場にはいって、急にしんとするほどあたりが静かになりました。ぼくはさびしくってさびしくってしようがないほど悲しくなりました。あのくらい好きな

先生を苦しめたかと思うと、ぼくは本当に悪いことをしてしまったと思いました。ぶどうなどはとても食べる気になれないで、いつまでも泣いていました。

ふとぼくはかたを軽くゆすぶられて目を覚ましました。⑤ぼくは先生の部屋でいつのまにか泣きね入りをしていたとみえます。少しやせて背の高い先生は、笑顔をみせてぼくを見下ろしていられました。ぼくはねむったために気分が良くなって今まであったことはわすれてしまつて、少しはずかしそうに笑い返しながら、あわててひざの上からすべり落ちそうになっていたぶどうのふさをつまみあげましたが、すぐ悲しいことを思い出して、笑いも何も引っこんでしまいました。

「そんなに悲しい顔をしないでよろしい。もうみんなは帰ってしまいましたから、あなたもお帰りなさい。そして明日はどんなことがあつても学校に来なければいけませんよ。あなたの顔を見ないと私は悲しく思いますよ。きつとですよ。」

そういつて先生はぼくのカバンの中にそつとぶどうのふさを入れてくださいました。ぼくはいつものように海岸通りを、海をながめたりしながら、つまらなく家に帰りました。そして⑥ぶどうをおいしく食べてしまいました。

けれども次の日が来るとぼくはなかなか学校に行く気にはなれませんでした。おなか痛くなればいと思つたり、頭痛がすればいと思つたりしたけれども、その日にかぎって虫歯一本痛みもしないのです。しかたなしにいやいやながら家は出ましたが、ぶらぶらと考えながら

歩きました。どうしても学校の門を入ることはできないように思われたのです。けれども先生の別れのときの言葉を思い出すと、ぼくは先生の顔だけはなんといっても見たくてしかたがありませんでした。ぼくが行かなかつたら先生はきつと悲しく思われるにちがいない。もういちど先生の優しい目で見られたい。ただその一言があるばかりでぼくは学校の門をくぐりました。

そうしたらどうでしょう、まず第一に待ちきっていたようにジムがとんできて、ぼくの手をにぎってくれました。そして昨日のことなんかわすれてしまったように、親切にぼくの手をひいて、どきまぎしているぼくを先生の部屋につれて行くのです。ぼくはなんだかわけがわかりませんでした。学校に行ったらみんなが遠くの方からぼくを見て、「見ろ、どろぼうの、うそつきの日本人が来た。」とても悪口を言うだろうと思っていたのに、こんなふうにされると気味が悪いほどでした。

ふたりの足音を聞きつけてか、先生はジムがノックしない前に戸を開けてくださいました。ふたりは部屋の中に入りました。

「ジム、あなたはいい子、よく私の言ったことがわかってくれましたね。ジムはもうあなたから謝ってもらわなくても良いと言っています。ふたりは今から良いお友だちになればそれでいいんです。ふたりとも上手にあく手をなさい。」

と先生はにこにこしながらぼくたちを向かいあわせました。⑧ぼくはでもあんまり勝手すぎるようでもじもじしていますと、ジムはぶらさげているぼくの手をいそいそと引っ張り出してかたくにぎってくれました

た。ぼくはもうなんといってこのうれしさを表わせばいいのかわからないで、ただはずかしく笑うばかりありませんでした。ジムも気持ち良さそうに、笑顔をしていました。

先生はにこにこしながらぼくに、

「昨日のぶどうはおいしかったの。」

と問われました。ぼくは顔をまっかにして「ええ。」とはくじようするよりしかたがありませんでした。

「そんならまたあげましょうね。」

そういって、先生はまっ白な*リンネルの着物につつまれた体を窓からのび出させて、ぶどうを一ふさもぎ取って、まっ白い左の手の上に粉のふいたむらさき色のふさをのせて、細長い銀色のはさみで真ん中からぶつとりと二つに切って、ジムとぼくとにくださいました。まっ白い手のひらにむらさき色のぶどうが重なって乗っていたその美しさをぼくは今でもはつきりと思い出すことができます。

ぼくはそのときから前より少し良い子になり、少しはにかみ屋でなくなつたようです。

それにしても、⑨ぼくの大好きなあの良い先生はどこに行かれたでしょう。もう二度とは会えないと知りながら、ぼくは今でもあの先生がいたらなあと思います。秋になるといつでもぶどうのふさはむらさき色に色づいて、美しい粉をふきますけれども、それをうけた大理石のような白い美しい手はどこにも見つかりません。

(有島武郎『一ふさのぶどう』より)

〔注〕

リンネル：亜麻あまの織維せんいでつくった織物おりもの。

問一 — ①「どやどや」のように、状態の感じを言葉に表したり音や声を言葉に写したりしたものを擬態語や擬音語といいますが、本文中で使われている他の擬態語・擬音語を三つ書きぬきなさい。

問二 — ②「もういってもようございます」とありますが、先生はなぜジムたちを帰してしまったのですか。その理由を三十五字以内で答えなさい。

問三 — ③「自分のしたこと」とありますが、どのようなことをしたのですか。これより前の文章から十二字で書きぬきなさい。

問四 — ④「死んでしまいたいようなころもち」とありますが、「ぼく」にとっては何がたまらなく悲しいのですか。説明しなさい。

問五 — ⑤「ぼくは先生の部屋でいつのまにか泣きね入りをしていたとみえます」とありますが、具体的にはどういうことですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 理不尽な言いがかりをつけられて、ふてくされたまま眠ってしまったということ。

イ 泣きつかれてしまい、気が付くと泣きながら眠ってしまったということ。

ウ 一方的に悪者あつかいされたことが納得できなかったが、言い返さず眠ったということ。

エ 一人だけになってしまい退くつだったので、先生がもどるまで寝てしまったということ。

問六 — ⑥「ぶどうをおいしく食べてしまいました」とありますが、どのようなことがきっかけで「ぼく」は食べられるようになりましたか。説明しなさい。

問七 — ⑦「ぼくはでもあんまり勝手すぎるようでもじもじして」とありますが、それはなぜですか。説明した次の文の（ア）（イ）（ウ）に当てはまる言葉を、本文中から書きぬきなさい。ただし、（ア）（イ）は二字で、（ウ）は四字で書きぬくこと。

・学校に行けば、みんながぼくの（ア）を言うだろうと思っていたのに、待ちきっていたようにジムが来てぼくの手を（イ）にひいてくれたうえに、先生からあく手をして良い（ウ）になればよいと言われたから。

問八 — ⑧「ぼくの大好きなあの良い先生はどこにいかれたでしょう。」とありますが、ぼくは現在どのような気持ちだと言えますか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 大人になったぼくが、かつて自分を導き救ってくれた先生を思い出してなつかしく思い、会いたくなっている気持ち。
イ 子どものころに大好きだった先生からもらった粉のふいたぶどうの味が忘れられず、さみしい気持ち。
ウ ジムとの出来事から時間が経ったが、大人になったぼくは今でも忘れることが出来ず、いらいらしている気持ち。
エ ぼくを大人にするために、導いてくれた先生の大理石のような白い手の美しさにひたる気持ち。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(*印がついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

*水俣病は世界的に見てもその被害が深刻であり、同時にその解決にいたるまでのプロセスにおいて医学的な議論だけではなく、地方と都市の関係性や、地域住民の暮らしと国の経済発展との関係性など、多くの力関係をふくむ複雑な社会構造が関わっており、環境問題が技術的アプローチのみで解決することができないということを*如実に示しました。今日でも、世界の国々が水俣病の経験から多くを学び続けており、水俣の経験はそれぞれの国や地域での環境政策に反映されています。

こうした環境と開発のバランスが①世界的な問題になりはじめた状況について、国連は一九七二年にストックホルムにて開かれた国連人間環境会議の場において議論し、急速な経済発展にもなつて生じる環境問題に国際的に取り組むための組織として、国連環境計画(UNEP: United Nations Environmental Programme)の設立を決めます。

これに続く一九八二年の国連環境計画管理理事会特別会合(通称、ナイロビ会議)において、「環境と開発に関する世界委員会」の設立が提案され、国連総会で承認されます。先述のとおり、ブルントラント外相がリードするこの委員会は二一名の*有識者により構成され、一九八七年にブルントラント・レポートが提出されるまでに合計八回の会合を行いました。このなかで、環境と開発のバランスを、地球規模でどのよ

うにかじ取りしていくべきかについての議論が行われ、その*総括として「②持続可能な開発」が提唱されたのです。

持続可能な開発の定義において問われていることは、将来世代と現行世代がどのような関係にあるべきかということです。このことについて持続可能な開発という*概念には、「現行世代である私たちが自らのニーズを満たすために必要な能力を*阻害するものであってはならない」という力強いメッセージがこめられています。つまり、社会が発展していくときに、将来世代と現行世代の間には、公平な関係性(世代間公平性)が*担保されなければならないと主張しています。

とても魅力的な主張である一方で、実際にこの持続可能な開発を実践するには、多くの難しい点があります。当然ですが、将来世代はまだ生まれてすらいませんから、現行世代の私たちはかれらの声について想像するしかありません。これが本当にかれらの声を代弁するものであるのかについては、残念ながら確かめようがありません。

A、私たち現行世代は、将来世代が暮らす時代には、今よりも科学技術や社会制度が発展していると考えがちです。そのため、現段階で私たちにとって問題であることも、将来世代にとってはすでに解決可能なことになっていくだろうと楽観的に考えてしまうことがあります。このような見方の背景には、時間の経過とともに技術や制度というものは改善されていき、そうしたときに物事は必ず改善されていくのだというような発展に対する直感的な見方があります。

B、実際には私たちの社会にはもう③何世代も解決できていない

ような問題がいくつもあります。

例えば経済格差がその典型で、収入の高い世帯に生まれた子どもたちがより高い割合で難関大学に進学し、将来的に高収入の職に就くというような構造があります。このことが教育や収入の格差を世代を超えて固定化させるという状況を生み出しています。社会の発展が必ずしも時間の経過と比例して前進するものではないことを認めるとき、将来世代との公平性を議論する際の前提条件が大きく変わることになります。

持続可能な開発の定義のなかでもうひとつ重要な概念は、「ニーズ(needs)」の部分です。持続可能な開発の和訳では「欲求」が用いられていますが、ここでのニーズは^④もう少し広い意味合いをふくんでいます。「欲求」は生命活動の存続に必要なことという意味ですが、持続可能な開発におけるニーズには、[※]ジェンダーの公平性、教育機会の平等、民主主義的な社会の維持^{いじ}など、生活の質(Quality of Life)に深く関連する項目もふくまれています。単に環境保全と経済発展のバランスだけを見ているのではなく、人々の暮らしに関わる多くの項目が、持続可能な開発における「ニーズ」にはふくまれているのです。

C このニーズは時代と共に変化していきます。私たち現行世代にとって満たしたいニーズは、先行世代のそれから大きく変化していきますから、将来世代のニーズが私たちのそれと大きく異なるものになることも容易に想像が付きまます。

例えば経済的な豊かさを環境よりも優先した結果として、^⑤先述のよ

うな深刻な公害を私たちは経験しました。安定的な電力供給を優先したために、保管する以外に処理方法のない廃棄物^{はいきりぶつ}を生み出し続ける仕組みに依存^{いぞん}する社会をつくりました。他にも、地方の自律的発展よりも大都市圏^{けん}の経済活動を優先した結果として都市と地方の間に様々な格差が生じ、かつ固定化することを容認してきました。こうした課題が*克服^{くふく}されていくなかで現行世代の私たちのニーズは徐々に満たされていくことになるわけですが、将来世代は異なる社会に暮らすことになりまますから、かれらにとっての課題やニーズも必然的に我々のそれとは異なっていることでしょう。

現行世代の私たちが将来世代のかれらのニーズを言い当てることはできませんが、私たちがかれらのことに思いをはせることはできます。このように将来世代が暮らす未来のことを考慮^{こうりょ}しながら、現行世代の私たちの開発のあり方を考える、ということが「持続可能な開発」という概念が意味するところなのです。つまり、持続可能な開発という考え方は、半分は^⑥現行世代の開発のあり方を将来世代との公平な関係性のなかで問い直していくこと、そしてもう半分は^⑦次世代への思いやりによってできていると言えます。

(工藤尚悟『私たちのサステイナビリティ』より)

〔注〕

水俣病：一九五三年ころから熊本県の水俣地方で、工場廃液^{はいえき}にふく

まれる有機水銀によって起きた公害。

如実…：さながら。そのままに。

有識者…：ある分野に精通した見識が高い人。

総括…：別々のものをまとめ合わせることに。

概念…：大まかな意味内容。

阻害…：じやまだてすること。

担保…：不利益が起きたときに、その補いをするに。

ジェンダー…：社会の中で、性別によって求められる役割や行動のこと。

克服…：努力して困難にうちかつこと。

問一 — ①「世界的な問題」とありますが、環境問題が世界的な問題に

なりはじめたのはなぜですか。その理由が書かれているところを

「くから」につながるように本文中から二十七字で探し、最初と最

後の五字を書きぬきなさい。

問二 — ②「持続可能な開発」とありますが、その中で重視されている

ことは何ですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 将来世代と現行世代との関係は、それぞれの国で議論されなければならぬということ。

イ 将来世代が求めるものを満たすために必要な能力を阻害してはならないということ。

ウ 現行世代である私たちは、自らの求めるものを満たさなければならぬということ。

エ 将来世代と現行世代の間には、公平な関係性が担保されなければならぬということ。

問三 本文中の 、、 にあてはまる言葉を、

次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア また イ あるいは ウ そして エ しかし

問四 — ③「何世代も解決できていないような問題」とありますが、その具体例として挙げられているものを本文中から四字で書きぬきなさい。

問五 — ④「もう少し広い意味合い」とありますが、具体的にはどういうことですか。説明しなさい。

問六 — ⑤「先述のような深刻な公害」とは何ですか。本文中より三字で書きぬきなさい。

問七 — ⑥「現行世代の開発のあり方」の課題点として、筆者が挙げているものを次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 発電の過程で生まれる廃棄できないゴミを生み出し続ける仕組みにたよりにっている点。

イ 地方創生により大都市圏から人口が流出することで、地方の自然環境が少なくなってきた点。

ウ 人や物が集まりやすい大都市圏の経済活動を優先してきたことで、地方との間に格差ができてしまった点。

エ 世代をまたぐことで世帯の収入が徐々に低くなってきてしまいい、大学に進学するのも難しくなった点。

オ 環境と開発のバランスが複雑になりすぎて、将来世代のニーズを考えられなくなっている点。

問八 — ⑦「次世代への思いやり」とありますが、具体的にはどうすることですか。「将来世代」、「ニーズ」という言葉を用いて五十文字以内で説明しなさい。

*のらんには何も記入しないこと

一		各2点 各1点	
⑥	①	⑦	②
大群	かぶ	久しく	ふこう
⑧	③	清算	かいこ
⑨	④	花束	すがたみ
⑩	⑤	貿易	ひひよう

二		各4点	
問一	ぶつり	ぶるぶる	しくしく
問二	絵の具をと	つたこと	について、
問三	接話を聞き	たか	ぼく
問四	ジムの絵具をとる	たから	から
問五	という	と	も
問六	明日、学校で先生と会う約束をしたこと。	と	直
問七	ア悪ロイ親切ウお友だち		
問八	ア		

*

三		各4点	
問一	最初環境問題が	問二	エ
問三	A	問四	経済格差
問五	生命活動の存続に必要なことという意味の「欲求」だけでなく、生活の質に深く関連する項目もふくまれているということ。	問六	明日、学校で先生と会う約束をしたこと。
問七	ア	問七	ア悪ロイ親切ウお友だち
問八	を考慮しながら将来世代のニーズに思いをこめ、未来のこと	問八	ア

*

三		各4点	
問一	最初環境問題が	問二	エ
問三	A	問四	経済格差
問五	生命活動の存続に必要なことという意味の「欲求」だけでなく、生活の質に深く関連する項目もふくまれているということ。	問六	水俣病
問七	ア	問七	アウ
問八	を考慮しながら将来世代のニーズに思いをこめ、未来のこと	問八	を考慮しながら将来世代のニーズに思いをこめ、未来のこと